

# はまぼうふう vol.31 2009.7.2.

## 石狩海浜植物保護センター通信

HP 上ではカラーでご覧になれます

### 知られぬ砂浜の小さな命 イソコモリグモ

イソコモリグモは、砂浜海岸に生息するクモで、ハマニンニクやコウボウムギなど海浜植物がまばらに生えている自然海浜が生息に適した環境です。砂に径 1cm ほどの穴を掘りますが、砂が崩れないように、穴の壁は糸で固められています。穴の中に潜み、虫など小さな生き物が近くを通ると、素早く穴から出てきて捕らえるそうです。

キャンプや釣りなどで砂浜で過ごしていても、その存在に気づかない人がほとんどでしょう。

しかし、全国的に海浜環境が消失、悪化して生息環境が減ったため、環境省の絶滅危惧 類 (VU) に指定されている生き物なのです。



イソコモリグモ (北大松島氏より提供)



バギー車に荒らされた砂丘植生

石狩浜でも、このクモの生息場所は荒らされています。サンドバギー車が走り回る砂丘上が生息場所なのです。

砂丘に暮らす小さな命は、気づかれぬまま、石狩から、そして日本の海岸から消えてしまうかも知れません。

自然界は見えない命があふれていますが、その存在を知るだけで、自然に対する意識が変わり、愛着さえわいてきます。

このような生き物を少しでも目に見える形で表し、多くの人にその存在を知らせてゆきたいと思います。(内藤)

.....お知らせ.....

### 夏休みこども教室

ハマナスで草木染に挑戦

日時 7月30日(木) 10:00 ~ 15:00

参加費: 200円

講師: さっぽろネチャーゲームの会

海浜植物を研究しよう

~ 海浜植物を観察スケッチしてその生態を学びます ~

日時: 8月6日(木) 10:00 ~ 15:00

参加費: 100円

講師: 北大大学院農学研究科 藤 彰矩 さん

共通して; 定員: 10名

対象: 小学4年生 ~ 中学生(親子可)

保護者参加の場合参加費は 400円 300円

集合: 9:50 海浜植物保護センターまたは 9:30 石狩市役所

持ち物: 筆記用具、昼食、飲み物、帽子、タオル

申込: 2日前まで 詳細問い合わせください。

### 夏休みミニ自然教室

夏休み中の土日(7/25,26、8/1,2、8/8,9) 海浜の素材を使った簡単なクラフト体験や、海浜植物を紹介するミニガイドツアーを行います。

場所: 海浜植物保護センター

時間: 11:00 ~ 15:00 の間随時、各 30 分程度

対象: 5 歳以上 参加費: 無料 申込: 不要

どなたでも、お気軽におこしください

### 石狩浜野鳥観察会(川の博物館共催事業)

9月5日(土) 9:00 ~ 12:00 石狩川河口を歩いて、シギチドリ類や草原の野鳥を観察します。

集合: 8 時台 ~ 石狩市内 12 箇所から参加者を送迎します。または 9 時石狩海浜植物保護センター

参加費: 無料 定員 30 名 詳細は問合せください。

申込: 8/30 までに川の博物館へ (tel.0133-64-2057)

「海（海辺）」と「人」とのつながり 8 回目は、「海ごみ」です。

今回は文字どおり「人間が海に捨てたごみ」のことです。本稿では、工場や事業場などからの汚水の垂れ流しではなく、川の上流から流れ来るもの、海辺で遊んだ後、放置していったもの、航行中の船から捨てられたり、漁網・浮きなどの漁業用具の一部、あるいは海に漂流していたり、海岸などに漂着した流木や外国からのものなどを言います。

人を除いた自然界では、いわゆる「ごみ」はありません。すべての物質は循環（リサイクル）しています。ほんの百年ほど前までは日本の社会もそれに近い状態だったと言われています。

写真は、石狩浜の状況ですが、浜を歩くとなんともおびただしい量の「海ごみ」に遭遇します。



漁具の一部

ハンゲル文字のタンク 壊れた冷蔵庫



テレビ

一時、日本海沿岸に廃ポリタンクが大量に流れ着き、全国に報道されて話題になりました。石狩海岸に流れ着くごみの調査はあまり

されていませんが、そのとき限られた期間に市が調べたものでは、平成 19 年度が 61 個、20 年度が 28 個でした。日本語や外国語が表記され、中には薬品が入ったものもありました。



トドとイルカの死骸

最近では、こんな漂着（流）物も多く見かけるようになりました。昨年は、イシイルカの死骸が 5 頭、今年はトドの死骸が 3 頭流れ着いて、私たちを驚かせています。

ちなみに、環境省が日本海に面する道府県に調査を依頼し、取りまとめた資料（環境省 HP）によると、今年 1 月から 3 月末までで 19 道府県の海岸に漂着した廃ポリタンクは、約 1 万 7 千個（昨年は約 4 万 7 千個）が確認されました。うち、ハンゲル表記が約 6 千個見られたということです。

漂着数の多い上位 10 道府県は、長崎 2,477 個、秋田 2,416 個、新潟 2,293 個、島根 1,976 個、石川 1,897 個、山形 1,278 個、青森 1,078 個、北海道 893 個、福岡 880 個、山口 869 個となっています。調査は冬期間で、黒潮の分流、対馬海流の日本海北上と強い北西の季節風により、ほとんどが日本海に面する地域に漂着したのですが、北海道の場合、太平洋やオホーツク海岸の都市にも漂着しています。北海道は全国 1 の長い海岸線を持っていますが、列島の最北にあるため、8 番目となったのでしょうか。塩酸など薬品の入ったものもあり、安易に内容物には触れないようにしましょう。

これらの「海ごみ」は、毎年多くのボランティアの協力で集められています。今年 7 月 1 日、「クリーンアップ日本海」が行われ、市内事業者、市民、市役所職員らにより、海水浴場周辺の「海ごみ」拾いをしました。9 団体、約 300 名の参加で、約 1.2 トンのごみを集めました。



クリーンアップ 日本海のような



集められたゴミの山

海のレジャーシーズン前でもこれだけのごみが石狩浜の一部に流れ着き、又は捨てられていました。そして、これらのごみは、海岸の属する市町村や海岸の管理者が費用を負担して処理しているのです。

しかし、費用負担も大変ですが、ごみによる海洋環境への影響が心配です。有害物質による水・底質や魚貝類の汚染、漁業被害や航行障害、さらには美しい景観を台無しにし、海水浴やレジャーのじゃまになったりします。また、環境省のモデル調査では、「海ごみ」の主な発生源は、国内であることもわかりました（パンフ「漂着ごみを考える 環境省」）。

今回はプラスチック類等軽い漂着ごみ、あるいはレジャーの後の放置ごみなど、目に見えるごみについて書きましたが、人の行かない所や砂に埋もれたり、重たく海底などに沈んだ目に触れないごみは、一体、どのくらいあるのでしょうか。まったく想像がつかえませんね。環境中に捨てられたごみも巡り巡って、ふたたび私たちに戻ってくるのです。一人一人の取組が海を守るのです。（センター長）

豆知識：いしかり砂丘の風資料館のHPには、「ごみではない」漂着物も載っています。こちらをご覧ください。



ボランティアレポート

今回は、保護センターで働く職員さんのメッセージです。

海浜植物ことはじめ

石狩が地元で、石狩浜やはまなすの丘には、運転免許をとってから毎年のように訪れています。海岸道路沿いにハマナスやハマエンドウ、ハマヒルガオなどが咲いている様子をいつも目にしていましたが、きれいな花の咲くものしか、その名前は知りませんでした。

ハマニンニク、コウボウムギ、コウボウシバなどは、今年から保護センターに勤務するようになってから覚えた名前です。きれいな花が咲いていれば注目もしますが、どうも地味な花、・・・という草。しかもよく見るとそこら中に生えています。



(コウボウムギの地味な花)

しかし、名前を知って親しみを持つようになると、毎日の観察が楽しみになり、地味な花が咲いている様子もなんだかいとしく思ってしまうほどです。

こうして、海浜植物と顔見知りのご近所さんのような関係になると、道を歩いているだけでも、植物が目につくようになります。興味を持って見ると、もっと詳しく観察できるようになり、さらに親しみがわいてきます。

今は、見本園や保護センターの周囲の植物の芽や葉のつき方、つぼみ、種など、花が咲いていなくても日々の移り変わりの様子を観察することが楽しみの一つになっています。

わたし自身の海浜植物に対する意識の変化から、たくさんの人たちが「海浜植物と顔見知りになってくれたら、車で踏みつけることや、乱採されることもなくなるのではないかなあ」と思うようになりました。

どうぞ、石狩浜にお越しの際は、保護センターにも立ち寄ってください。少しでもそのお手伝いができるよう、資料と実物を見ながら勉強中です。(中澤)

石狩浜の小さな花に魅せられて～保護センターで植物の世話をする傍ら～

石狩浜の植物ハマナス、若芽が食べられるハマボウフが代表的ですが人目に付きづらい小さい花もあります。

4月下旬、小さな葉のかたまりの上に咲く紫色のイソスミレ、一輪二輪咲いても誰も気づいてくれない小さな白い花オオヤマフスマ、強い風をさけるように低木の陰で咲くクゲヌマラン、そんな花も小さい群生地ではつい覗きこんでしまいます。



(オオヤマフスマ)

また7月上旬咲くエゾカワラナデシコ、それに遅れまいと中旬に咲き出すカセンソウ、競演するかのよう



(クゲヌマラン)



(カセンソウ)



(エゾカワラナデシコ)

に小さな起伏を舞台にピンク色と黄色い花びらが十重二重に夕日に照らされて咲く様に思わず立ち止まってしまう。

その後コガネギクが花のシーズンの終わりを告げるように西風にゆらいでいます。

その場所は・・・ヒミツ・・・探しに来て下さい。(長野)

## 最近の活動のようす

4月24日 はまなすの丘景観保全作業

はまなすの丘の海浜植物群落の景観を守るため、



多くの市民ボランティアの皆さんにご協力いただき、外来植物の除去とごみ拾いを行いました。

5月16日 石狩浜野鳥観察会

ハマハタザオの白い花が満開でした。ビジターセンターから砂嘴を一回りし、ノゴマ、ノビタキ、チュウシャクシギ、オオセグロカモメ、シロカモメなどを観察しました。参加された方から「図鑑で見ているのとは違う楽しさがあった」などの感想が寄せられました。



5月30日 石狩浜自然観察会

石狩浜らしい強い風の中での自然観察会でした。



砂丘に棲むアリや、砂嘴の海側でむき出しになった植物の根も観察しました。植物だけではなく、そこに棲む生きものにも目を向け、自然の生命力が感じられる観察会となりました。

6月13日 石狩浜自然観察会

ハマナスが見ごろを迎えました。参加者の皆さんは熱心に質問をしたり、見過ごしがちな小さな雄しべや雌しべの形、種などの観察もしました。ハマナスの香りを感じながら、エゾスカシユリ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、ヤマブドウなど、たくさんの植物の開花の様子やつぼみを観察しました。



活動してます！～石狩浜の自然を伝えるボランティア～

ふるさと自然塾

はまなすの丘に、植物の名前を紹介した手作りのかわいらしい表札を立てています。名前がわかると散策が楽しくなるよ、との思いから。



石狩浜定期観察の会

月2回、花など自然情報を集めて写真で情報発信しています。鋭い観察眼で、普段気づかない自然の一面も写しています。セター HP でも一部見られます。

自然案内人

夏休みこども教室に向けて、ハマナスの草木染や自由研究、ミニガイドなど、企画、準備を進めています。

.....お知らせ.....

## 秋のこども自然教室

9月19日(土)10時～15時

ハマナスの実でジャム作りやクラフトを楽しみながら、石狩浜の自然を学びます。

集合：9:50 海浜植物保護セター(または9:20 石狩市役所)  
定員：30名 参加費：子ども100円,大人300円  
詳細は問い合わせください。

## はまなすの丘景観保全作業ボランティア募集

今年も海浜植物群落の景観維持のため、市民ボランティアの方と一緒に灯台周辺園路のごみ拾いや外来植物等の除去を行います。

日時：10月16日(金)10～12時

集合：9時50分にビジターセンター駐車場  
持ち物：長靴,軍手,お持ちの方はスコップ やクワ等

問合せ

4/29～11/3:石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1 tel.0133(60)6107

申込み

11/4～4/28:石狩市役所市民生活部内 〒061-329 石狩市花川北 6条 1丁目 30-2 tel.0133(72)3240

email. [ihama@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp)HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>